

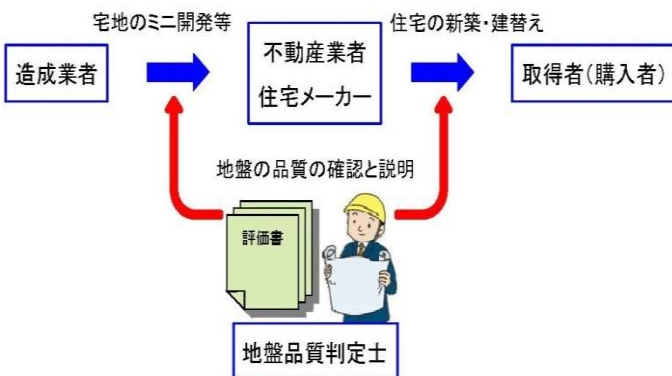
地盤品質判定士協議会のご案内

■ 地盤品質判定士とは

2013年2月4日に設立された地盤品質判定士協議会は、土木工学・建築工学分野や不動産・住宅関連産業に従事する地盤技術者を対象に、地盤品質判定士の資格制度を創設しました。この資格制度では、2種類の資格（「地盤品質判定士」と「地盤品質判定士補」）を設けています。地盤品質判定士は、宅地の造成業者、不動産業者、住宅メーカー、住宅及び宅地の取得者（購入者）の間に立ち、地盤の評価（品質の判定）に関わる調査・試験の立案、調査結果に基づく適切な評価と説明および対策工の提案等を行います。地盤品質判定士並びに地盤品質判定士協議会は、広く社会に貢献することを目指します。

2018年2月27日付で、地盤品質判定士が、国土交通省の「平成29年度公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格」のうち、「宅地防災」の施設分野で登録されました。国及び地方公共団体が発注する宅地防災に関わる業務において、地盤品質判定士が管理技術者・照査技術者を担当することのできる資格になりました。社会で幅広く活躍することが期待されています。

■ 地盤品質判定士の役割のイメージ



■ 資格取得者の例

土木工学・建築工学分野の地盤を扱う技術者
不動産・住宅関連産業に従事する地盤に関係する技術者

■ 地盤品質判定士の技術範囲

- 地盤品質を判定できる基礎的な知識とその応用力
技術者倫理
宅地の造成，土砂災害に関わる法制度
地質・地形・地盤の調査，土砂災害
住宅等（小規模建築物）の基礎
地盤の液状化
盛土・切土と擁壁の安定性
地盤改良
- 地盤品質を適正に判定できる十分な経験と技術力
地盤の液状化，基礎の支持力と沈下，盛土・切土と擁壁の安定性

■ 東日本大震災が提起したこと

- 立地 → 地盤の液状化



- 丘陵地 → 盛土・擁壁の崩壊



対象	土木構造物 大規模な建築物	宅地 戸建て住宅
所有者	公的機関 大きな民間組織	一般の市民
被害	皆無ないし軽微	地盤の液状化 盛土・擁壁の崩壊
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●最新の基準類を整備 ●適切に耐震診断及び耐震補強 ●組織内の地盤技術者の存在 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害を防ぐ仕組みの欠如 ●耐震診断や対策の不実施 ●地盤技術者のサポートの欠如

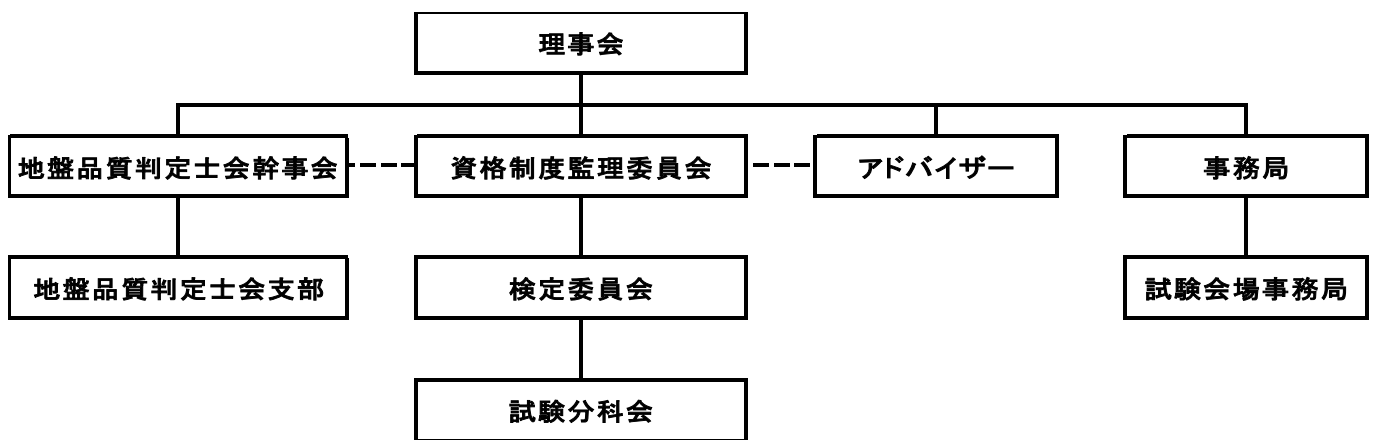
■ 会長の挨拶

村上会長のあとを受け、2018年6月より地盤品質判定士協議会第四代会長を拝命しました大谷 順です。よろしくお願ひ申し上げます。
 昨年11月に国土交通省により「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規定」に「宅地防災分野」が新規に追加され、本年2月27日には本分野の唯一の資格として地盤品質判定士が登録資格認定を受けました。これにより、本協議会ではこれまで以上に判定士を増やすべく支援活動を進めてまいります。また、ここでは宅地防災分野とされていますが、協議会としては宅地のみならず、広い意味での地盤災害防止に向けた安心で安全な社会や地域づくりを推進します。各位のご支援を賜りますよう、重ねてお願ひ申し上げます。



地盤品質判定士協議会 会長 大谷 順
 ((公社)地盤工学会 会長)

■ 地盤品質判定士協議会の組織



■ 過去の出願者数と合格・登録者数

年度		2013	2014	2015	2016	2017	延累計
出願者数		1,474	658	448	298	220	—
合格・登録者数	地盤品質判定士	383	223	169	107	70	952
	地盤品質判定士補	243	92	84	5	27	258

注：補から士への登録変更があるため補の延累計は加算合計にはなっていない



地盤品質判定士協議会

The Japanese Association for Geotechnical Evaluation

協議会構成団体：(公社)地盤工学会, (一社)全国地質調査業協会連合会, (一社)地盤保証検査協会, (NPO)住宅地盤品質協会, (公社)土木学会, (一社)日本建築学会, (一社)建設コンサルタント協会, (一社)全国土木施工管理技士会連合会, (公社)日本不動産鑑定士協会連合会

【問合せ先】 協議会事務局
 〒112-0011 東京都文京区千石4丁目38番2号 (公社)地盤工学会 JGS 会館内
 E-mail : jage@jiban.or.jp
 Tel.03-3946-8766, Fax.03-3946-8678
 URL : <https://www.jiban.or.jp/jage/>



(2018年6月8日版)